

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(金)・六日(土)

午前九時半・午後二時より

五日(金)午後七時より

仏教婦人会報恩講



今号の法語

浄土への道は
彼方かなたではなく
私の足元にある



今号の内容

- ・京都本願寺団体参拝のお知らせ
- ・「御伝鈔ごでんしょう拝読」はじめます
- ・膝掛けを寄付して頂きました
- ・「五位組ごぞだより」できました

皆さんは「お浄土」についてどのようなイメージをお持ちですか？死んだら行くところ？あの世の世界？それとも……？

えてして世間ではこの世と「お浄土」を切り離して考えがちです。しかし「お浄土」とは阿弥陀様のお悟りの世界のこと。死んだら生まれさせて頂くのも「お浄土」ではありませんが、お悟りの世界である「お浄土」はそれだけにとどまるものではありません。

「お浄土」とは単なる「場所」ではありません。お悟りの世界である限りそれは「今」の私に常にはたらきつづけます。

お悟りの真実の世界を私が知らされることで、対する「今」の私の真実の姿が明らかになる。仏様の真実の智慧の眼を与えてくれるのも「お浄土」の尊いはたらきなのです。

親鸞聖人750回大遠忌法要 団体参拝のお知らせ

期日 平成23年(2011年)4月10日(日)～11日(月)
 募集人員 300名
 参加費 35,000円
 主催 浄土真宗本願寺派五位組(18カ寺)



西本願寺(大修復後の御影堂)



いよいよ京都・西本願寺で親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が来年四月から勤まります。それに際しまして、広濟寺が所属する五位組では来年四月十日(日)から十一日(月)にかけて西本願寺への団体参拝を行います。今年四月の「五位組親鸞聖人七五〇回大遠忌お待ち受け法要」の時点にも簡単にお知らせしてました

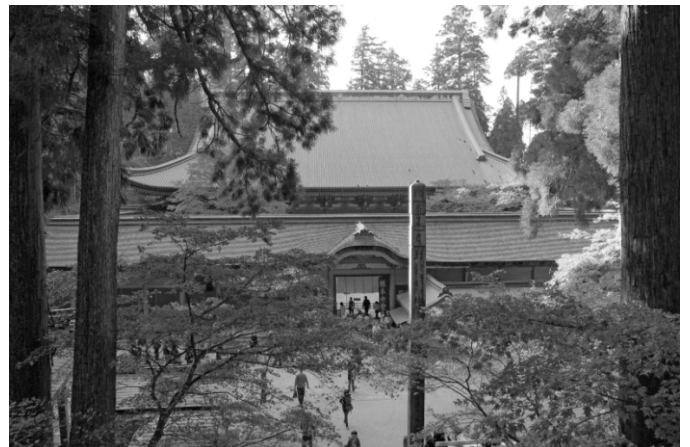
が、詳細がついに正式決定しました。

この団体参拝では大法要参拝の他に、希望者の方には大谷本廟への納骨、また本山(西本願寺)での帰敬式(おかみそり)も受け付けることになりました。せつかくの本山参拝のご縁です。法名をまだ頂いていないという方は是非本山でのおかみそりをお受け下さい(「法名」については前号参照)。

また第一日目には比叡山延暦寺を訪ねます。この比叡山は、親鸞聖人が実に二十年前にわたって修行なさった場所です。町の中にある本願寺とは違い、山の中にある比叡山では自然の心地良い静けさを感じることができます。

宿泊は鴨川近くにて。夜の懇親会もお楽しみに♪

その他詳細は「団体参拝募集のご案内」のチラシをご覧ください



比叡山延暦寺

下さい。このチラシは広濟寺ホームページからも取得できます。

申し込み方法は、チラシに付属している申込書に必要事項をご記入の上、参加費と共に広濟寺にお申し込み下さい。皆さんと本願寺にお参りできるのを楽しみにしています。是非ご一緒に楽しい思い出を作りましょう。

西本願寺の御伝鈔拝読の様子



「御伝鈔拝読」はじめます

十一月五日(金)・六日(土)は報恩講

今年も例年の如く、十一月五日(金)・六日(土)両日共に午前九時半・午後二時より広濟寺の報恩講を勤めさせていただきます。

また今年からは「御伝鈔拝読」を新たに始めようと思えます。

『御伝鈔』とは親鸞聖人の伝記のようなものです。報恩

講の期間中は内陣の左余間に『御絵伝』を奉懸しますが、それと対になるものです。

元々はこの二つは『親鸞聖人伝絵』とよばれる一本の絵巻物でした。けれどもその形式では一度に限られた数の人しか見ることができません。そこでそれをより多くの方々に見て知っていただけるように、絵と詞書の二つに分けたのです。

絵はそれだけを並べた豎型の掛け軸、つまり現在の『御絵伝』とし、詞書は一冊の書籍、現在の『御伝鈔』となりました。

絵の掛け軸である『御絵伝』を奉懸した前で『御伝鈔』を拝読するというスタイルは、

大勢のご門徒方が集まる場にはうってつけでした。以後そのスタイルが広く流布して、親鸞聖人のご法事である毎年の報恩講には『御絵伝』の前で『御伝鈔』を拝読するというのが伝統となっていたのです。

「御伝鈔拝読」の雰囲気には独特のものがあります。夕方過ぎから始まるので、薄暗い中、蝋燭の明かりを頼りに『御伝鈔』を拝読していきま

膝掛けを寄付して頂きました

この度、ご門徒の方から膝掛けを二十枚寄付して頂きました。

今からの季節、本堂の中は広いだけに大変冷え込みます。椅子に腰掛けるとき膝に掛けるものがあるだけで随分違います。しかも手作りの

す。大変厳かで、宗教的雰囲気漂う行事です。

今回からこの「御伝鈔拝読」を始めるのですが、全て拝読するには実に一時間以上かかってしまいますので、今年はずまず最初の二〇分くらいを拝読させていただく予定です。

時間は報恩講第一日目、十一月五日(金)の午後四時からです。是非ご参拝くださいね。

この膝掛けだと色々な意味であたたかく感じます。ありがたく使わせていただきます。



「五位組だより」できました

～五位組の活動まるわかり～

この度『五位組だより』が発行されました。

五位組とは、今年四月の「五位組親鸞聖人七五〇回大遠忌お待ち受け法要」からも知られるように、広濟寺を含めた浄土真宗本願寺派(お西)の地域グループの名称です。

五位組は十八カ寺より構成されていますが、各々のお寺それぞれの活動はもちろん、五位組全体としての活動も様々に取り組んでいます。

けれどもご門徒の皆様にとつては「自分と」縁のあるお寺の情報以外のことについてはなかなか耳に入ってこな

かったのが実状であったと思います。

そこでこの度、五位組の門徒推進員の方々が中心となつてくださつて『五位組だより』発行の運びとなりました。

この『五位組だより』には五位組としての活動や各寺の報恩講の予定など様々な情報が掲載されています。どのお寺でも自由にお参りすることができまますのでどうぞご利用ください。

尚、この『五位組だより』は広濟寺ホームページにおいてもご覧頂くことができます。

9/24の『五位組だより』発行！(かわら版)にリンクを貼つてあります。

お知らせ

二〇二〇年

報恩講

十一月五日(金)・六日(土)

午前九時半より

午後二時より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

子供報恩講

十一月五日(金)

午後五時より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(金)

午後七時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

編集後記

いよいよ京都・本願寺においての親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が近づいて参りました。五十年に一度の大法要に向けて、宗門では実に十年以上も前から御影堂の大修復をはじめとした様々な準備をご門徒の方々に支えられて行ってきました。この十年という時間の中で大法要の為に尽力しながらも亡くなつていかれた方々もたくさんおられました。

この大法要は、今を生きる真宗門徒の願い、そして何よりも、亡くなくなつていかれた方々の願いの結晶でもあります。

今私はその尊い結晶をお迎えする時代に命を頂きました。この「縁」を大切に受け取らせて頂きたいと思ひます。